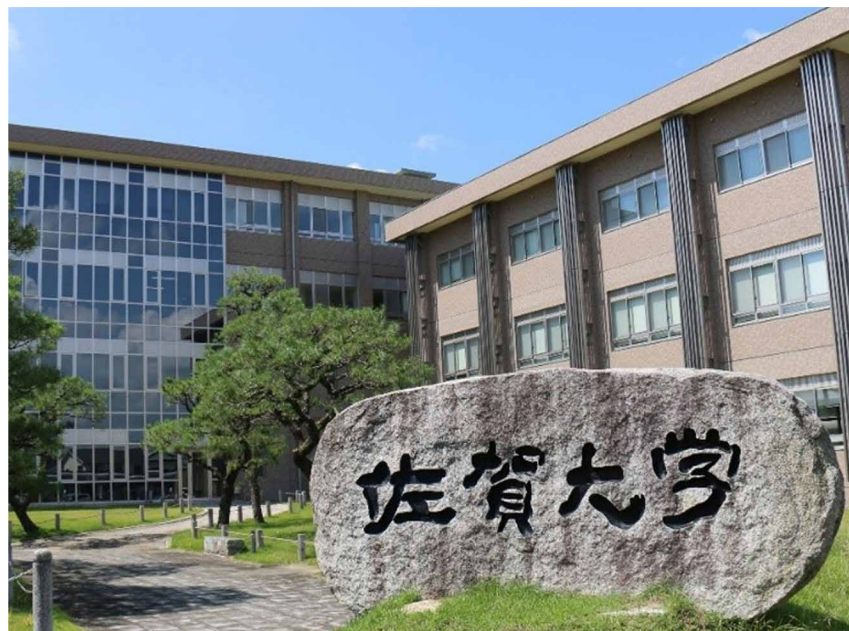


国立大学法人
佐賀大学
SAGA UNIVERSITY



STUDY



RESEARCH



GLOBAL



さまざまな情報にあふれ、様変わりし続ける現代社会。時代に対応するために必要なのは、ジブン自身を成長させること。好奇心から始まる多彩な学び。異文化や多言語と触れ合うことで見つける新しい価値観。多くの人とコミュニケーションを取ることで生まれる無限大の創造力。そんな成長につながる佐賀大学での時間が、最高のジブンへと導いてくれる。年齢も国境も立場も超えて、ジブンらしく輝くために。さあ、一步を踏み出してみよう。

佐賀大学憲章

佐賀大学は、これまでに培った文、教、経、理、医、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎にし、豊かな自然溢れる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、ここに佐賀大学憲章を宣言します。

魅力ある大学 創造と継承 教育先導大学 研究の推進 社会貢献 国際貢献 検証と改善

目的をもって生き活きと学び行動する学生中心の大学づくりを進めます。
自然と共生するための人類の「知」の創造と継承に努めます。
高等教育の未来を展望し、社会の発展に尽くします。
学術研究の水準を向上させ、佐賀地域独自の研究を世界に発信します。
教育と研究の両面から、地域や社会の諸問題の解決に取り組みます。
アジアの知的拠点を目指し、国際社会に貢献します。
不断の検証と改善に努め、佐賀の大学としての責務を果たします。

沿革

年代	佐賀大学	佐賀医科大学
大正 9 年 4 月	旧制時代 官立佐賀高等学校が設置	
昭和 18 年 3 月	佐賀県師範学校が官立佐賀師範学校に昇格	
昭和 19 年 4 月	青年学校教員養成所が官立佐賀青年師範学校に昇格	
昭和 24 年 5 月	旧制の佐賀高等学校、佐賀師範学校、佐賀青年師範学校を包括し、文理学部・教育学部からなる2学部の新制国立大学として発足	
昭和 28 年 4 月	教育学部に特別教科（美術・工芸）教員養成課程を設置	
昭和 30 年 7 月	農学部を設置	
昭和 41 年 4 月	文理学部を改組し、経済学部、理工学部及び教養部を設置	
昭和 45 年 4 月	大学院農学研究科（修士課程）を設置	
昭和 50 年 4 月	大学院工学研究科（修士課程）を設置	
昭和 51 年 10 月		佐賀医科大学が開学
昭和 58 年 4 月	大学院工学研究科を大学院理工学研究科（修士課程）に名称変更	
昭和 59 年 4 月		大学院医学研究科（博士課程）を設置
昭和 63 年 4 月	鹿児島大学大学院連合農学研究科（博士課程）に参加	
平成 3 年 4 月	大学院理工学研究科を改組し、大学院工学系研究科（博士課程）を設置	
平成 4 年 4 月	大学院経済学研究科（修士課程）を設置	
平成 5 年 4 月	大学院教育学研究科（修士課程）を設置	
平成 8 年 10 月	教養部と教育学部の改組により文化教育学部を設置	
平成 9 年 4 月		大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称し、修士課程を設置
	国立大学法人 佐賀大学	
平成 15 年 10 月	佐賀大学、佐賀医科大学が統合し、新「佐賀大学」を設置	
平成 16 年 4 月	国立大学法人佐賀大学を設置	
平成 28 年 4 月	文化教育学部を改組し、教育学部、芸術地域デザイン学部を設置 教育学研究科、経済学研究科を廃止し、学校教育学研究科、地域デザイン研究科を設置	
平成 31 年 4 月	医学系研究科（修士課程）を廃止し、先進健康科学研究科（修士課程）を設置 工学系研究科（博士前期課程）を廃止し、理工学研究科（修士課程）を設置	
令和 3 年 4 月	工学系研究科（博士後期課程）を廃止し、理工学研究科（博士後期課程）を設置 理工学研究科（修士課程）を理工学研究科（博士前期課程）に名称変更	
令和 8 年 4 月	コスメティックサイエンス学環を設置 熊本大学との教育学部共同教員養成課程を設置	

佐賀大学ビジョン「実践智で未来を拓く」 Wisdom in Action for a Shared Future

我が国は、18歳人口の構造的減少、Society 5.0 への不可逆的移行、そして地域社会の持続可能性という複合的な課題に直面しています。こうした非連続的変化の時代において、地方国立大学に求められる役割は、従来の「地域貢献」にとどまるものではありません。地域の未来像を主体的に構想し、その実現を社会とともに先導する「共創の中核」へと進化することが求められています。

佐賀大学は、「実践智で未来を拓く」を本ビジョンの中心理念として掲げます。

実践智とは、学術的知見、倫理観、状況判断力、経験、そして行動力を統合し、変化する社会の中で、ウェルビーイング（Well-being）の実現に向けて他者と協働しながら最善の判断と行動を選び取る知の在り方です。

実践智を創出し、共有し、社会的価値へと転換すること。

利害の異なる人々や組織が協働し、相互に価値を高め合う関係を築く「共利」の精神のもと、世界のウェルビーイングに貢献すること。それが本学の未来社会に対する使命です。

さらに本学は、地域を「学び」と「社会実装」の場として位置づけ、産官学民との協働を通じて新たな社会的価値を創出し、「地域未来共創大学」へと進化します。地域に根差し、世界に開かれた大学として、佐賀から日本へ、そして世界へと社会変革を広げていきます。

本学の経営理念の中核は人的資本経営です。教職員と学生は、未来社会を共創する最も重要な資本であり、その能力を最大限に発揮できる環境を整え、挑戦を後押しし、全ての構成員の持続的成長を促進します。

本ビジョンを、佐賀、日本、そして世界の未来のために、教職員と学生が一体となり（教職学協働）、確かな行動として実現していきます。

実践智で
未来を拓く

— 佐大ビジョン2040 —

教育 教学相長と伸育による未来共創人材の育成

- ・教職員と学生が互いに学び、高め合う「教学相長（きょうがくあいちょうず）」を根幹に据え、学術的探究と実践的経験を往還する学修を通じて、知識を社会の中で活かす力を育みます。
- ・正課教育、課外活動、地域連携を有機的に結び、学生が自ら課題を発見し、協働しながら解決する学びを推進します。
- ・可能性を最大限に引き出す「伸育（しんいく）」により、多様な主体と共に未来社会を構想し、新たな価値を創造する人材（Co-creator）を育成します。

研究 智の統合による学術フロンティアの創出

- ・本学の強みを基盤に、異分野融合によって智を統合し、新たな学術領域を創出します。
- ・「共利」の精神のもと、基礎研究と社会実装を志向する実証研究を相乗的に展開し、地域課題解決を起点とした成果を世界へ発信します。
- ・新たな社会的価値と学術フロンティアを切り拓き、未来社会のウェルビーイングに貢献します。

社会貢献 智の連携による持続可能な未来社会への変革

- ・「共利」を原動力とした自律分散型社会の核となる共創プラットフォームを構築します。
- ・知的資本と物的資本を社会に開放し、産官学民の連携によって地域課題を解決するとともに、新たな産業を創出します。
- ・地域や現場を学修の場とする実践教育を通じ、挑戦するCo-creatorを社会へ輩出します。

国際貢献 智の循環による世界人の輩出と国際互惠

- ・世界から学生と研究者が集い、多様な文化や価値観が響き合うキャンパスを実現します。
- ・開かれた環境のもと、互いを尊重し支え合う「国際互惠」の精神を体現し、未来社会を構想し自ら行動するリーダー「世界人」を育成します。
- ・教育と研究の成果を国際社会へ還元し、国境を越えた智の循環（国際頭脳循環）を生み出すことで、世界の課題解決に貢献します。

法人経営 人的資本価値を最大化する法人経営

- ・人的資本を経営理念の中核に据え、持続的成長と社会的価値を創出します。
- ・心理的安全性の高い組織を構築し、DEI & Bを推進するとともに、挑戦を正当に評価する組織文化を醸成します。
- ・ブランドガバナンスと統合アセットマネジメントを確立し、DXを活用した機動的かつ戦略的な法人経営を実現します。



教育学部

教育学部は、熊本大学教育学部と連携した「共同教員養成課程」として、小中連携教育コースと教育支援探究コースの2コースに分かれています。小中連携教育コースでは、小・中学校9年間を一体的に捉え、義務教育期間全体を見据えた教育実践を行える教員を養成しています。教育支援探究コースでは、子どもの発達や心理、

学校教育課程／

幼小連携教育コース、小中連携教育コース

保育・教育、特別支援教育について専門的に学び、多様な教育的ニーズに対応できる教員を養成しています。本学部は、両大学の特色を活かした多様な学びを通して、現代社会の変化に伴う様々な教育課題に対応できる人材の育成を目指しています。



芸術地域デザイン学部

本学部は平成28年に創設された佐賀大学で最も新しい学部で、「芸術表現コース」と「地域デザインコース」が設けられ、芸術を究め、芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成を行っています。ここでの芸術とは、作品の創作やモノのデザインだけではなく、種々のキュレーション活動も含んでいます。最近ではまちづくりや

芸術地域デザイン学科／

芸術表現コース、地域デザインコース

地域おこしを担う自治体やマスコミ、観光業といった分野でアートの視点が求められています。芸術的手法や感性を磨き、人やモノを芸術で結び付け、地域活性化や国際化などに貢献する人材を養成する学部です。平成29年には有田キャンパスが開設され、芸術表現コース有田セラミック分野の学生と教職員が活動しています。



経済学部

本学部は、経済学、経営学、経済法学の3つの学科から構成されています。これらの3学科で、経済学、経営学、法学の総合教育を推し進め、社会に貢献する人材を育てます。経済学科では、経済の主要分野である金融、経済政策、国際経済、地域経済を学びます。さらに経営学と法学を学んで、企業に求められる幅広い視野と課題

経済学科、経営学科、経済法学科

対応能力を身につけます。経営学科では、経営学の主要分野である会計と企業経営を学びます。さらに経済学と法学を学んで、企業経営に必要な広い視野と課題対応能力を身につけます。経済法学科では、主に法学の科目を学びます。さらに経済学と経営学を学んで、行政や企業に必要な広い視野と課題対応能力を身につけます。



医学部

本学部の基本理念は「医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応える良き医療人を育成し、もって医学・看護学の発展及び地域包括医療の向上に寄与する」です。この下に、医学科では、医の実践において、強い生命倫理観に基づくとともに広い社会的視野の下

医学科、看護学科

に包括的に問題をとらえ、その解決を科学的・創造的に行うような医師を育成することを、看護学科においては、高い倫理観に基づき健康についての問題を包括的にとらえ、柔軟に解決する実践能力を持った看護職者を育成することを目的としています。



理工学部

本学部は、理工学科1学科の下に理学から工学までを広範にカバーする9コースからなる教育プログラムを設け、入学後に幅広い分野の大学教育に触れながら、自らの適性や関心などに基づき、将来を意識したコース選択ができる仕組みを導入しています。学生に、自律的に学ぶ姿勢、原理・原則を理解する力、アイデア創出能力、問題発見能力、課題設定能力、構想力、

モデル化能力、課題解決・遂行能力を身に付けさせ、産業構造の変化に柔軟に適應できる幅広い教養とAI・データサイエンスを含む理工学基礎力を土台として、複眼的視点・俯瞰的視野から社会の広い分野で活躍できる科学・技術の専門的素養を持つ人材の養成を目的としています。



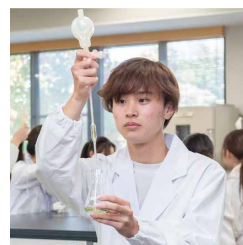
理工学科／

数理サイエンスコース、データサイエンスコース、知能情報システムコース、化学コース、物理学コース、機械工学コース、電気電子工学コース、都市基盤工学コース、建築環境デザインコース

農学部

本学部は、1学科4コースからなり、持続的食糧生産と環境保全に関する総合科学、生命機能の解明と応用に関する先端科学について学ぶことができます。今、世界は「食料」「環境」「情報」「バイオエネルギー」「地域社会」などの教育研究を必要としています。本学部にはこれらの課題に取り組む様々な研究分野が揃っています。本学部は、「社会的要請に応えるために、

私たちの生活にとって有益な生物の生産・利用と環境保全に係る総合科学である農学の発展にさらに貢献するとともに、人類の繁栄に貢献するために必要な豊かな教養と深い専門知識を備えた人材を育成する」との理念を挙げています。また、本学部は豊かな自然に囲まれ、日本有数の農業地帯に立地しているため、農学と生命科学を学ぶための最適な環境にあります。



生物資源科学科／

生物科学コース、食資源環境科学コース、生命機能科学コース、国際・地域マネジメントコース

コスメティックサイエンス学環

本学環は、化粧品や化粧品関連製品に含まれる化学物質が、私たちの身体とどのように関わるかを科学的に探究する、国立大学初の教育研究課程です。

化学・生物学・皮膚科学・工学など複数の学問分野を融合し、化粧品開発に必要な専門知識と技術を身につけるとともに、化粧品に関する

文化、法規、マーケティングなどを学際的に学ぶことで、化粧品産業をはじめとする幅広い分野で活躍できる人材の養成を目指しています。

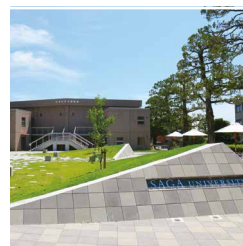
また、佐賀県では「コスメティック構想」が推進されており、大学・自治体・企業が連携し、本学環の教育・研究環境の充実を図っています。



教養教育センター

教養教育センターは、全学共通の教養科目として、「大学入門科目」、「共通基礎科目（英語・情報リテラシー）」、「基本教養科目」、および「インターフェース科目」を開講しています。また、これからの新しい社会を生き抜くために必要な実用的能力を、実践や実技を通して幅広く習得させることを目的として、「インターフェース科目」を他の教養教育科目や各学部の専門教育科

目と体系的に組み合わせて構成された副専攻プログラムを実施しています。さらに、数理・データサイエンス教育プログラムを開設し、学部専門教育を含め、令和3年度から全ての学生が学べるようにしています。これらのうち、基本教養科目を中心に、生涯学習の一環として市民への授業開放も実施しています。



研究科

学校教育学研究科（教職大学院）

本研究科は、平成 28 年 4 月に新たに設置された専門職大学院です。実践的指導力の育成を目標に、事例研究や模擬授業、長期にわたる実習などの活動的方法によって学びます。理論と実践の往還を原理とするカリキュラムによって、高いレベルの実践力をもつ教員を養成します。授業実践探究コース、子ども支援探究コース（生

徒指導・教育相談系、特別支援教育系）、教育経営探究コースの 3 つのコースがあります。佐賀大学や他大学の学部からの進学者（ストレートマスター）20 名と、佐賀県教育委員会から派遣される現職教員の院生 20 名が学んでいます。修了生は教員専修免許状を取得できます。

専門職学位課程／教育実践探究専攻／

授業実践探究コース、子ども支援探究コース、教育経営探究コース



地域デザイン研究科

本研究科は、芸術地域デザイン学部と経済学部との連携を目指して開設されました。「芸術デザインコース」と「地域マネジメントコース」の 2 つの教育研究コースを置き、その中に「芸術」「フィールドデザイン」「経済・経営」の 3 分野の教育課程を編成しています。学生はいずれかの分野を専攻しながら、他分野の知識や方法論

を学び視野を広げることで、企業や自治体などにおいて活躍できる能力と地域の活性化をマネジメントする能力や自治体、企業等の組織において地域創生を牽引していく独自の視点を得ることができます。修了後にアーティストやデザイナーを志望する学生も受け入れています。

修士課程／地域デザイン専攻／

芸術デザインコース、地域マネジメントコース



医学系研究科

本研究科の基本理念「医学・医療の専門分野において、社会の要請に応える研究者及び高度専門識者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療（地域社会及び各種の医療関係者が連携し、一丸となって実践する医療）の向上に寄与することを

目指す。」に基づき、医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するのに必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識と優れた技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成することを目的としています。

博士課程／医科学専攻／

基礎医学コース、臨床医学コース、総合支援医科学コース



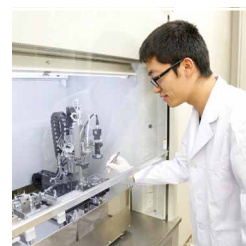
先進健康科学研究科

本学の理工学、農学、医学及び看護学分野が有機的に連携する地域密着型の融合体制により、新時代の産業需要に対応する技術革新と医療及び看護を含む臨床現場での先端技術の総合的応用を目指しています。本研究科では、健康科学分野における先端技術の応用に貢献できる創造性・実践力に秀でたプロフェッショナルな研究者に加え、幅広い領域で「橋渡し」的役割も担

える総合能力の高い人材を養成する。そのために、専門分野に関する高度な知識・技術の習得に加え、科学的思考や洞察力に基づく問題解決能力、異分野の知識や考え方を取り入れた幅広い視点と実践力、さらに研究者としての高い倫理観や知財管理能力の涵養など、先進性と学際性豊かな教育研究を行います。

修士課程／先進健康科学専攻／

生体医工学コース、健康機能分子科学コース、医科学コース、総合看護科学コース



理工学研究科

博士前期課程は、専門分野ごとのコース制を採ることで、教育実施体制を柔軟に構築し、さらに、教育や研究指導において専門分野間の連携を容易に図ることができます。所属するコースの専門分野についての高度な知識や技術を身に付けると同時に、専門分野の枠を越えた内容を自らのキャリアデザインに基づき自主的に学ぶことができます。

博士前期課程／理工学専攻／

数学コース、物理学コース、データサイエンスコース、知能情報工学コース、機能材料化学コース、機械工学コース、電気電子工学コース、都市基盤工学コース、建築環境デザインコース

博士後期課程／理工学専攻／

数理・情報サイエンスコース、機械・電気エネルギー工学コース、社会基盤・建築デザインコース、バイオ・マテリアルエンジニアリングコース

博士後期課程は、本学理工学分野の特色・強みを生かした教育研究を実施し、高度な研究活動を通じて培われる問題認識力、課題分析力と判断力、企画立案力を活用して、現場の実務家と協働しつつ現実の課題解決を行い、それを学術及び社会にも反映できる高度実践的リーダーの養成を目指しています。



農学研究科

本研究科は、21世紀の我々人類に課された責務として、食糧問題と環境問題を克服し、地球上のあらゆる生物が共に生存し続けるための生命生存に関する学問・研究を行うことを目的としています。農学を基盤とした人類の生存に必要な食料、環境、資源・エネルギー、経済・社会・文化、生命などに関わる4つのコースを擁して

修士課程／生物資源科学専攻／

生物科学コース、食資源環境科学コース、生命機能科学コース、国際・地域マネジメントコース

います。本研究科の使命は、近年の科学技術の高度化・情報化・国際化の中、社会・国際ニーズに応えられる高度な専門知識と技能を持った創造性豊かな農学・生命科学に関する研究者や専門家になる人材を育成することです。



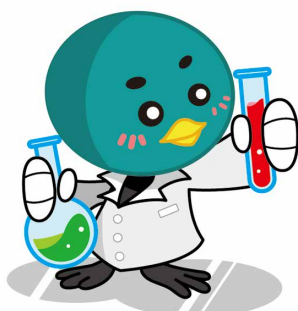
鹿児島大学大学院連合農学研究科

本研究科は、佐賀大学大学院農学研究科、鹿児島大学大学院農林水産学研究科及び琉球大学大学院農学研究科の教員組織、研究設備及び施設を連合して、1専攻3領域による大学院博士課程の教育研究体制を作り、生物生産、生物資源の開発・保全ならびにバイオサイエンスに関する高度な専門的能力と豊かな学識を備えた研

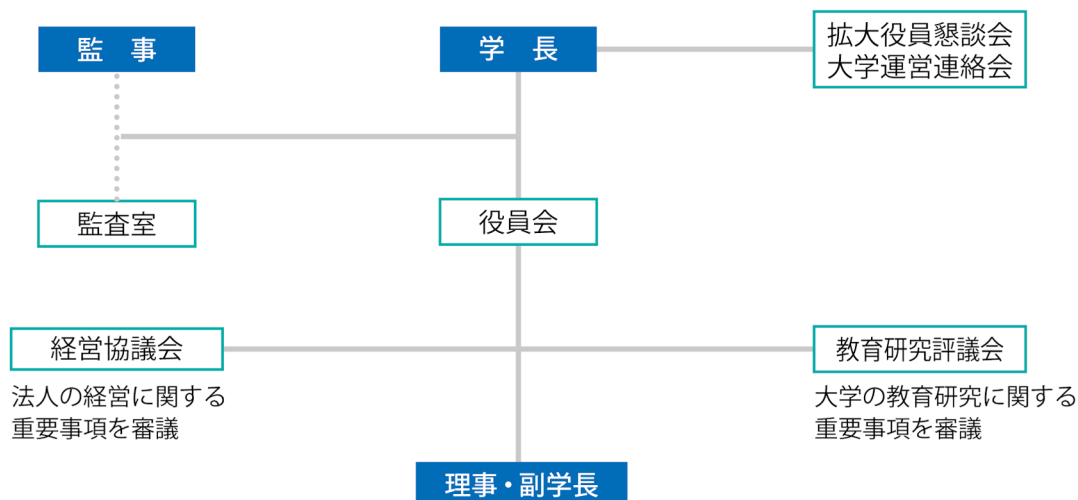
究者を養成し、これらの学問分野の進歩と生物関連諸産業の発展に寄与することを目的とした後期3年のみの博士課程です。修了者には、博士（農学、水産学又は学術）の学位が授与されます。



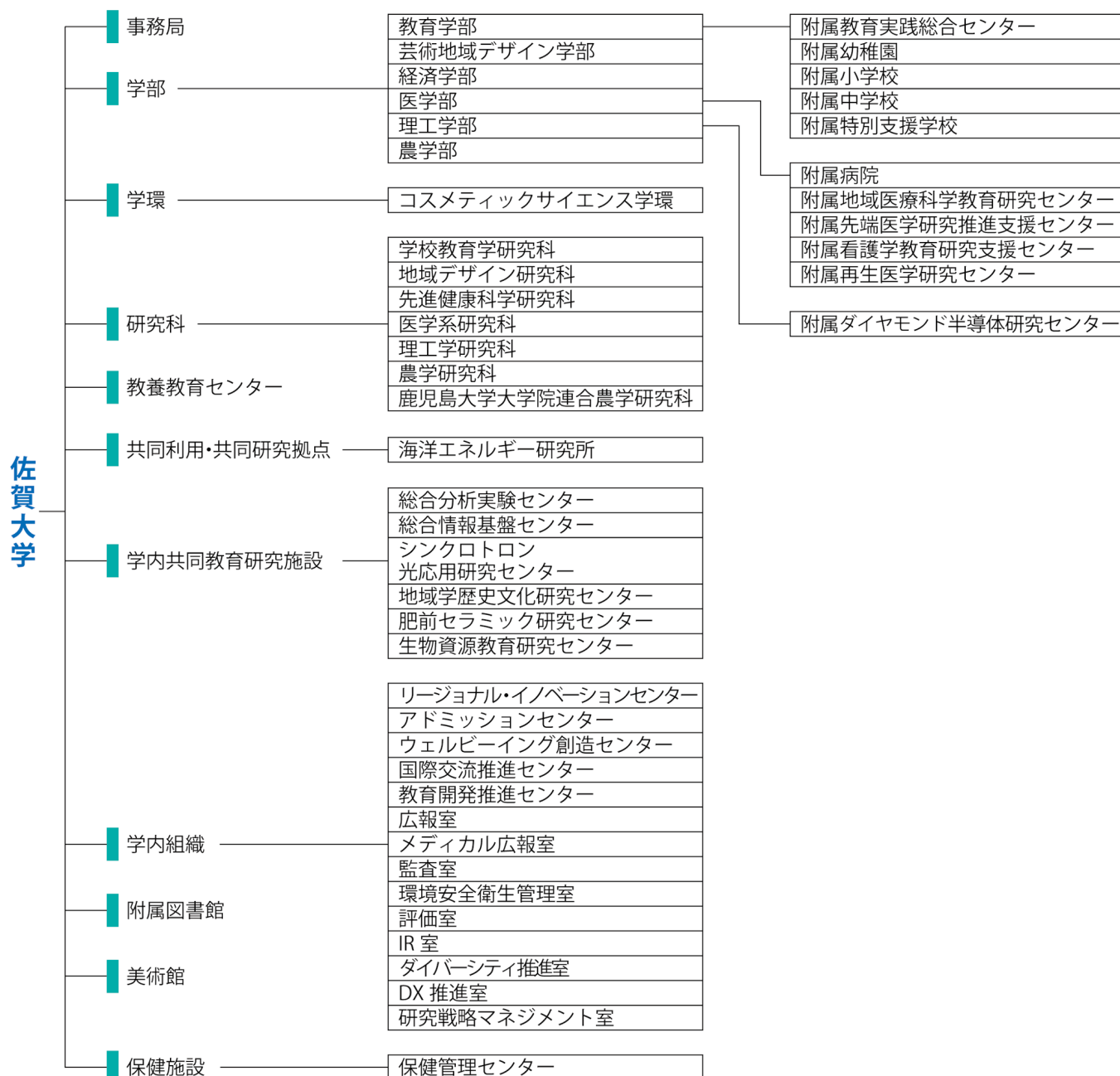
博士課程／農水生命科学専攻



運営体制



組織図



キャンパスマップ

本庄キャンパス

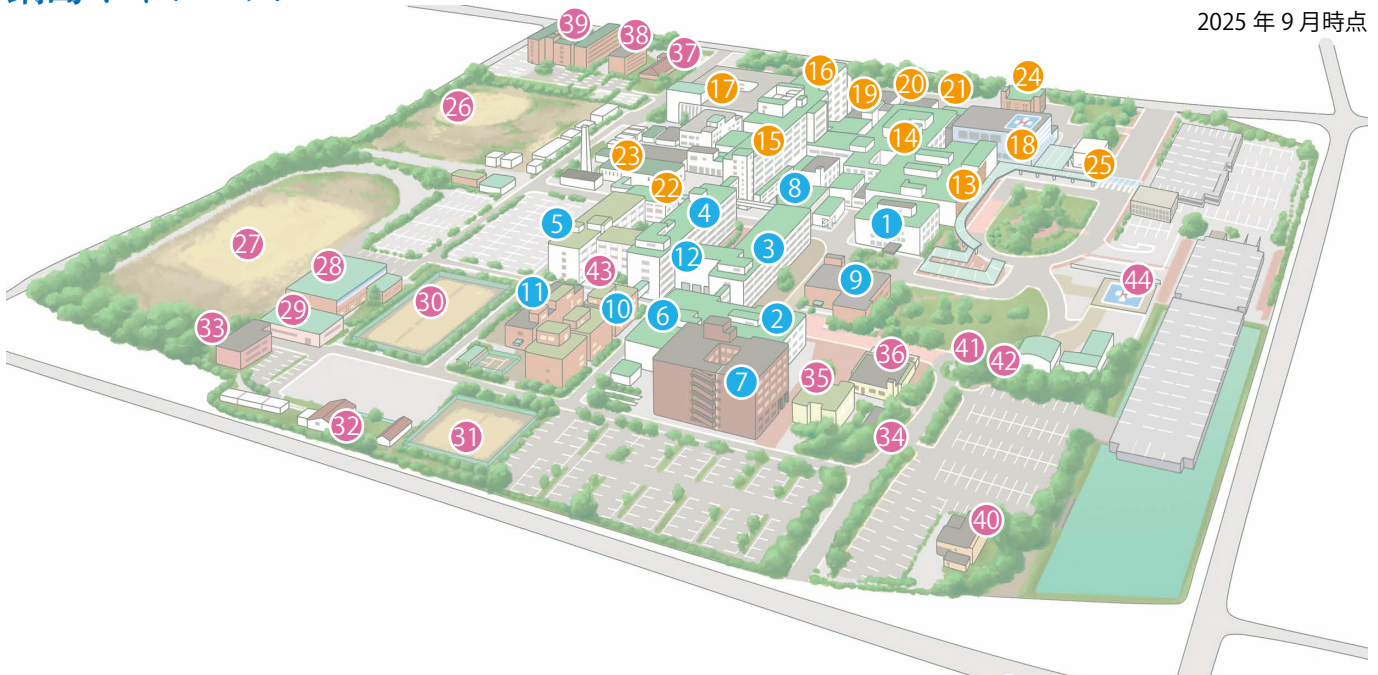


2025 年 9 月時点

- | | | |
|--|--|----------------------|
| 1 本部 | 18 経済学部 1 号館 | 35 農学部 1 号館 |
| 2 学生センター
アドミッションセンター
ウェルビーイング創造センター
総合研究棟 | 19 経済学部 2 号館 | 36 農学部 2 号館 |
| 3 附属図書館 | 20 経済学部 3 号館 | 37 農学部 3 号館 |
| 4 美術館 | 21 経済学部 4 号館 | 38 農学部 4 号館 |
| 5 産学交流プラザ
リージョナル・イノベーションセンター | 22 菊楠シュライバー館
(地域学歴史文化研究センター) | 39 農学部実験棟 |
| 6 保健管理センター | 23 理工学部 1 号館 | 40 オプティム・ヘッドクォータービル |
| 7 教養教育 1 号館 | 24 理工学部 1 号館 (南棟) | 41 総合情報基盤センター |
| 8 教養教育 2 号館 | 25 理工学部 2 号館 | 42 体育館 |
| 9 教養教育大講義室 | 26 理工学部 3 号館 | 43 プール |
| 10 教育学部 1 号館 | 27 理工学部 4 号館 | 44 スポーツセンター |
| 11 教育学部 2 号館
国際交流推進センター・留学生交流室 | 28 理工学部 5 号館 | 45 弓道場 |
| 12 教育学部 3 号館 | 29 理工学部 6 号館 (DC 棟) | 46 野球場 |
| 13 教育学部 5 号館
教育学部附属教育実践総合センター | 30 理工学部 7 号館 | 47 テニスコート |
| 14 芸術地域デザイン学部 1 号館 | 31 理工学部 8 号館
シンクロトロン光応用研究センター
総合分析実験センター
海洋エネルギー研究所
コスメティックサイエンス学環 | 48 テニスコート |
| 15 芸術地域デザイン学部 2 号館 | 32 理工学部 9 号館
総合分析実験センター | 49 陸上競技場 |
| 16 芸術地域デザイン学部 3 号館 | 33 理工学部大学院棟 | 50 第1サークル会館、第2サークル会館 |
| 17 総合研究 1 号館 | 34 機械工学実習工場 | 51 第3サークル会館 |
| | | 52 大学会館・大学生協 |
| | | 53 かさざぎホール |
| | | 54 菱の実会館 |
| | | 55 佐賀大学同窓会事務所 |
| | | 56 楠葉寮 |
| | | 57 国際交流会館 (A・B 棟) |
| | | 58 国際交流会館 (C 棟) |

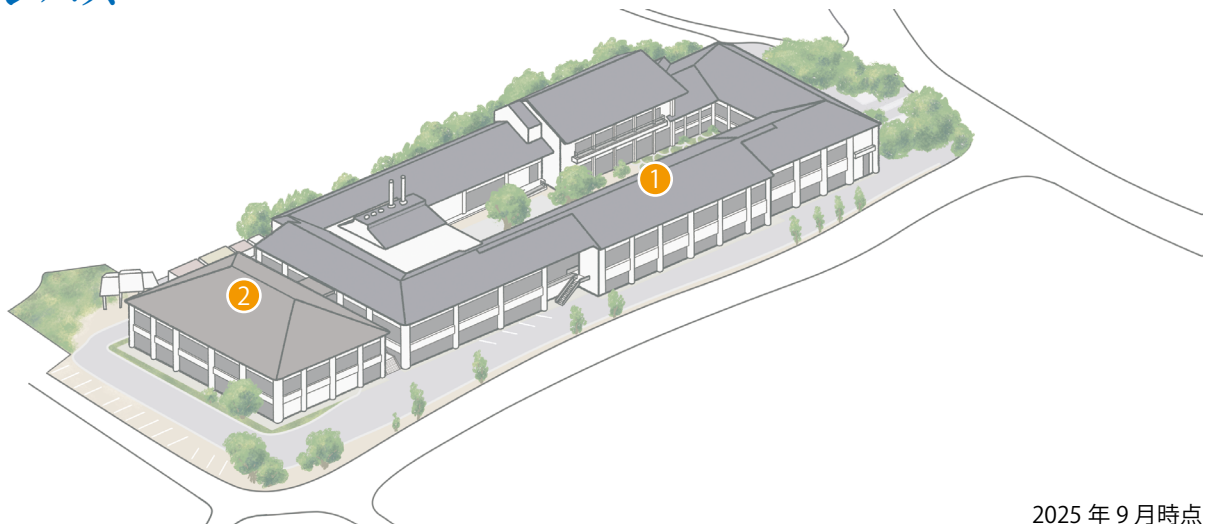
鍋島キャンパス

2025 年 9 月時点



- | | | |
|---|--------------|------------------|
| ① 管理棟
保健管理センター分館 | ⑬ 附属病院外来診療棟 | ⑲ 格技体育館 |
| ② 校舎講義棟
総合情報基盤センター（医学サブセンター）
附属地域医療科学教育研究センター
附属先端医学研究推進センター | ⑭ 附属病院中央診察棟 | ⑳ テニスコート |
| ③ 基礎研究棟 | ⑮ 附属病院西病棟 | ㉑ テニスコート |
| ④ 臨床研究棟 | ⑯ 附属病院東病棟 | ㉒ 弓道場 |
| ⑤ 院生・臨床研究棟 | ⑰ 附属病院北病棟 | ㉓ 課外活動施設 |
| ⑥ 基礎実習棟 | ⑱ 附属病院南診療棟 | ㉔ 学生サークル棟 |
| ⑦ 看護学科棟 | ㉒ RI 治療棟 | ㉕ 医学部会館 |
| ⑧ 臨床講堂 | ㉓ 放射線治療棟 | ㉖ 医学部会館（食堂） |
| ⑨ 附属図書館医学分館 | ㉔ MRI 棟 | ㉗ 保育園（キッズパレット） |
| ⑩ 総合分析実験センター（動物実験施設） | ㉕ 災害支援棟 | ㉘ 医学部宿舎 |
| ⑪ 総合分析実験センター（RI 実験施設） | ㉖ 中央機械室 | ㉙ 看護師宿舎 |
| ⑫ 総合分析実験センター | ㉗ 地域医療支援センター | ㉚ 非常勤講師宿泊施設（思誠館） |
| | ㉘ トリアージ棟 | ㉛ 慰霊堂 |
| | ㉙ 野球場 | ㉜ 慰霊碑 |
| | ㉚ 400Mトラック | ㉝ 動物慰霊碑 |
| | ㉛ 体育館 | ㉞ 地上ヘリポート |

有田キャンパス



- ① 1号館
- ② 2号館

2025 年 9 月時点

